

徳大卒業生 就職活動体験記(3)

名前：Aoutem Sara (アウテム・サラ)

出身：モロッコ

学歴：徳島大学工学部コンピューター工学系知能情報工学科 (2018年卒業)

会社：NTT 国際通信株式会社

仕事内容：バックエンドエンジニア



(1) 私が日本企業に就職しようと思ったきっかけは？

日本に就職しようと思った理由はいろいろあるのですが、知能工学の卒業生として先進的な ICT 技術を提供している会社で働くのは自分にとっていい経験になると考えたことが最も大きかったです。もともと異国である日本で働くことに興味を持っていたこともありますが、まずは日本の ICT 関連の会社で働くことが自分の経験としてプラスになるのではと考えたことが主な理由でした。

また、日本での仕事を通してこれまで学んできた日本語力をさらにアップすることができると考えたのももう一つの理由でした。友達と大学で話す時に使う日本語と会社で上司と話す時に使う日本語は全然違いますし、お客様と話す時も全く違う表現を使う必要があります。実際の場面で使うことができる日本語を学ぶには、仕事を通するのが一番と考えたことも日本で就職しようと思った理由でした。

(2) 就活で苦労したこと&成功したポイント：

日本の「就活」が海外と大きく違うのには驚きました。ただ、この違いを早い時期から知っていたので、卒業する約 1 年半前から就活の準備を始めました。日本語能力検定試験を受験し、マイナビや就職支援エージェントが開催するセミナーに参加し、エントリーシートの作成に時間を費やしました。エントリーシートの作成には、大学のキャリア支援室にとってもお世話になりました。みなさんもぜひ活用してください。

私が実践した就職活動の中で最も効果があったと思うのは OB 訪問でした。東京の NTT に就職している徳大生にコンタクトを取り、実際に会いに行って、エントリーシートに書いた方が良いと思われる情報や面接のコツなどについて教えてもらいました。そこで得た情報が、実際の就職活動で本当に役に立ったと思います。みなさんも応募したい会社が見つかったら、そこで働く先輩を探してみると良いと思います。

(3) これからの就活に向けたアドバイス：

まず、日本語の勉強をした方が良いと思います。たとえ、オフィスの中で英語を使うとしても、お客様は日本人であることが多いので、日本語は必ず必要になります。最低でも N2 以上の日本語力が必要なので、まずは焦らず、できるところから頑張ってください。

そして、時折、就活などの日本独特の習慣を取り上げて、「これは海外ではやってないので、日本はおかしい」と批判する留学生がいますが、それはあまり意味がありません。その習慣の裏にある理由 (Logic) を理解し、大事にした方が良いと思います。